



板敷 悦生さん
Itashiki Yoshiki

〔上豊内区〕

いたしき よしき / 甲佐町地域おこし協力隊。越名さんや治金さんと共に町公営塾「あゆみ学舎」で講師を務める。国語や英語、小論文などを担当。鹿児島県出身。

「ナナメの関係」を通して 甲佐高生の自己実現を手助け

「生徒のみんなとは、教師と生徒という『タテの関係』でもなく、クラスメイトのよいうな『ヨコの関係』でもない、少し歳の近い先輩・後輩のよいうな『ナナメの関係』を築いていければと考えています」

と話すのは、甲佐町地域おこし協力隊の一員として県立甲佐高校に併設された町公営塾「あゆみ学舎」の運営に取り組む板敷悦生さん(上豊内区)。同塾は、同校の魅力化事業の一環として、生徒1人ひと

りの夢を実現するために平成29年に町教育委員会が開塾したものの。

今年4月に本町に移住した板敷さんは、同隊の越名智美さん(大町区)や治金わかかなさん(大町区)と共に、生徒ごとの学習状況や進路に合わせて学習を支援。教科の指導だけでなく、社会で必要なスキルの習得もサポートしており、地域の協力を得ながらコ

ミュニケーション能力や問題解決力を高め、自己実現の手助けにも取り組む。

教員志望だった板敷さんが地域おこし協力隊を目指したきっかけは、大学在学中に高校生向けキャリア学習プログラムにボランティアスタッフとして携わったことだと言っ

「対話を通して高校生の悩みや夢を引き出し、自身の経験などを伝えながら、生徒が将来を見据えた目標設定のサポートをするボランティア活動に取り組み中で、先生よりも近い立ち位置から生徒たちと関わりたいと考えるようになりました。公営塾なら思い描いていた取り組みができるのではと感じ、思い切って志望しました」

「甲佐高生には、自身の世界を広げ、やりたいことを見つける力を身に付けてほしいです。そのきっかけを見つめるために、地域の皆さんとも『ナナメの関係』を築いてもらえるような活動に取り組みしていきたいですね」と話す板敷さんは、生徒たちに優しく寄り添う。